

# ICTを活用した学習の推進 ～グランドデザイン～

奥州市教育委員会

		小学校（低学年）	小学校（中学年）	小学校（高学年）	中学校		
ICTを活用した学習の推進	第1期（令和3年～令和4年）	「児童生徒」	入力	・コンピュータの起動・終了ができる。 ・マウスを操作できる。	・ローマ字による簡単な文字入力ができる。	・キーボードなどによる文字の正確な入力ができる。（10分間200字程度）	・キーボードなどによる、十分な速さで正確な文字の入力ができる。（10分間500字程度）
		ファイル操作	・電子ファイルを開いたり、閉じたりできる。 ・電子ファイルを保存できる。	・電子ファイルの検索ができる。	・電子ファイルをフォルダ内で管理できる。	・電子ファイルを圧縮や、パスワードによる暗号化、バックアップ等、運用できる。	
		アプリケーション操作	・画像編集やペイント系アプリケーションの簡単な操作で絵を描くことができる。	・映像編集アプリケーションの操作ができる。	・目的に応じてアプリケーションを選択し、簡単な操作ができる。	・目的に応じて適切なアプリケーションを選択し、必要な操作ができる。	
		情報モラル	・人の作ったものを大切にし、他者に伝えてはけない情報を守ることができる。	・自分の情報や他人の情報の大切さを踏まえ、尊重することができる。	・情報に関する自分や他者の権利があることを踏まえ、尊重することができる。	・情報に関する個人の権利とその重要性を尊重することができる。	
	「環境整備」	タブレット等	児童生徒一人1台の利用（ギガスクール構想）				
	大型提示装置等	各教室1台の大型提示装置の設置 双方向型の授業ができる環境整備					
	「教員対象」	プログラミング教育に係る各学校の指導計画づくりと実践					
	先進校のICTを活用した学習指導の実践紹介						
	指導者を対象としたICT活用に関する職員研修の推進						
	大型提示装置等の周辺機器活用に関する講習会の開催						
	第2期（令和5年～令和6年）	「児童生徒」	メール		・電子メールの特徴を理解し、送受信できる。	・ファイルを添付した電子メールを送受信できる。	
		Web検索	・教師が準備したリンク集を利用して、検索できる。	・検索エンジンにキーワードを入力して、検索できる。	・複数のキーワードを組み合わせて、検索できる。	・AND・NOT・OR検索を組み合わせ、効率的に検索できる。 ・クラウドを用いた協働作業ができる。	
		情報の整理・分析・判断			・ソフトウェアを利用して、表やグラフを作成できる。	・ソフトウェアを利用して、表やグラフ、画像の入った文章を作成できる。	
		「環境整備」	タブレット等	児童生徒・保護者・教員全員に公式（クラウド）IDを付与 ビデオ会議等の情報ライフラインの確立 コミュニケーション手段としての活用（デジタル連絡帳等）			
	「教員対象」	プログラミング教育に係る各学校の指導計画の見直し（小学校）					
先進校のICTを活用した学習指導の実践交流・校内授業研究会の推進							
プログラミング教育推進リーダーによるICT活用に関する職員研修の推進							
大型提示装置等の周辺機器活用・インターネットを活用した授業に関する講習会の開催							
第3期（令和7年度以降）	「児童生徒」	情報セキュリティ	・不必要に個人情報を教えるはけないことがわかる。	・個人情報の大切さを知り、IDやパスワードの重要性がわかる。	・情報セキュリティの重要性を知り、ウイルス対策やフィルタリングの必要性がわかる。	・SNS等での情報の送受信に伴い発生する問題について適切に行動できる。	
	情報通信ネットワークの特性や仕組み	・教師用コンピュータと児童用コンピュータが接続されていることが分かる。	・コンピュータは、ネットワークに接続されて活用されていることが分かる。	・インターネットについて、おおよその仕組みが分かる。	・様々な情報通信ネットワークの仕組みやクラウドについて分かる。		
	「環境整備」	タブレット等	学校間や家庭間、関係機関等との遠隔授業に対応できる情報環境の整備				
	「教員対象」	プログラミング教育に係る各学校の指導実践の評価と見直し					
各中学校区単位でのICTを活用した学習指導の実践交流・拡大授業研究会の推進							
ICT活用教育アドバイザーによる提案授業や、ICT活用に関する職員研修の推進							
ビデオ会議等を活用した交流授業や遠隔授業に関する講習会の開催							

※【児童生徒】については、情報活用能力に関する資質・能力を示すものであり、系統的・継続的に育成を目指す。